

《詩歌》 あいうえおのぼろ酒

アクトン 小一

あかちゃん あさひだ あいうえお
 いぎりす いいことあるよ あいうえお
 うしの うたごえ あいうえお
 えんぴつ えがおで あいうえお
 おさかな おはよう あいうえお



【評】とても楽しい歌が作れましたね。イギリスいいこといっぱい
 あると先生も思います。

《生活文》 わたしのついで型をこぼす

アクトン 小一

ぼくは、たんぼのわた毛にのって、日本のしまねけんのおばあちゃんのところへ行きました。そして、おばあちゃんも一緒にわた毛にのって、日本中をたびしました。

まずはじめに、東京までとんでいって、東京タワーのついでまでとんでいきました。すごく高いところまでとんで、ちよつとこわかったです。高いところから見ると、人がアリモたいに見えました。車のブルーという音もおくの方から聞こえてきました。

そのつぎに、ほっかいどうまでとんで行きました。そこでは、かにりょうりをたくさん食べました。おなかがいっぱいになったので、おんせんで休んでひるねもしました。



はやくく西風にのって、またしまねけんのおうちまで、とんでかえりました。たびのとちゅうで、えきべんをたべました。

おばあちゃんと一緒にわた毛にのってたびができて、ぼくは下キドキしたけどたのしかったです。

【評】順序を表す言葉を使い、分かりやすいとても楽しいお話が書きました。

《詩歌》 まるはなばち

アクトン 小一

まるはなばち まるはなばち
 まるくてかわいい
 まるはなばち
 あたまを花に入れて
 ねている
 まるはなばち
 おしりもまるくてかわいい
 まるくてふわふわの
 ボールみたいなの
 まるはなばち
 まるまるまるい
 まるはなばち



【評】丸くてかわいいマルハナバチの様子が詩で生き生きと表現できました。リズムもよく、声に出して読みたくなります。

《日記》 小さいけれど大はっけん

アクトン 小一

きのう、ぼくとともだちのデスクスタ
 ーは、学校の校庭で、むかしのものをさがすために、あなをほりました。
 二十五センチくらいあったところで、
 イースターエッグのぎんのつつみがみ
 を見つけました。ぼくたちは、



「これは、この学校があたらしいたてものになるまえに、うめられたにちがない！大はっけんだ！」

と言いました。とてもかんどうしました。でも先生に、「学校であなをほってはいけないよ。」と、しかられてしまいました。

【評】大発見でしたね。ワクワクしますね。何年前なのでしょうね？

《感想文》 「銀色の裏地」を読んで

クロイドン 小五

私も理緒のようないけんがあります。現地校に転校生が来た時に、かわいいけれどこわそうな子だと思い、なかなか話しかけられませんでした。でも、本当は、みんなにやさしい人で、人は見かけではないんだなと思いました。

高橋さんは、理緒が一人ぼちな気分になっているのを感じ、はげます言葉として『銀色の裏地』の話をしたのだと思います。いつもたのしいことは、自分の気持ちだけで見つけられると高橋さんは教えてくれたのだと思います。

【評】自分の経験をもとにして高橋さんのことがよく書けたのは立派ですね。高橋さんが教えてくれたことを○○さんも生かしていけるといいですね。

《生活文》 なりきって書こう

「COPIE-MAKER」

フレント 小四

私に来てから一カ月がたった。私はよく使われて、みんなの中でも一番のがんばりやさん。一カ月たって、ずいぶん私はおどろえてしまっていた。みんなはまだまだ元気なのに。私はこの先が短いことが分かっていて。なぜならインクがほぼのこっていないから。

【評】自分を気に入って、大切に使うてくれる持ち主との別れの時が近づいていることを感じているペンの気持ちが、心に響いてきました。